

## 【補助シート 押え端部の止水処理】

## 【雨水対策】

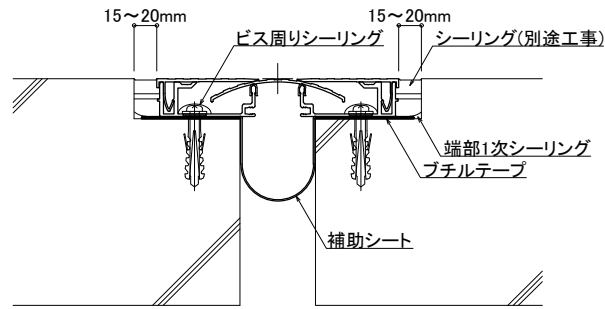
### 床

外部使用での漏水対策  
床EXP. J. Cは屋内での使用を標準として設計しています。従って外部でのご使用に当たっては次のような納まりで漏水対策を行なって下さい。  
(標準仕様の補助シートは一時的に水を受け、自然乾燥で乾かす事を基本としているものです。)

#### (外部仕様)

マンション共用廊下・外部廊下など、クリアランスが下の階や室内に通じていない場合

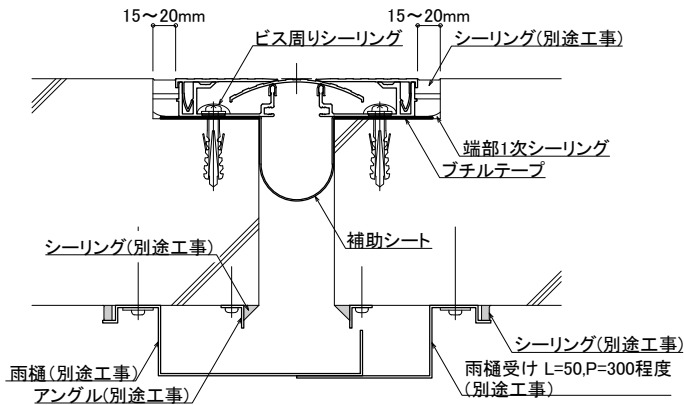
- ◆補助シートにプチルテープを貼り、フレームの下に敷きEXP. J. Cと躯体の取合いはシーリングを行なって下さい。(躯体との目地シーリングは別途工事)



#### (樋受け仕様)

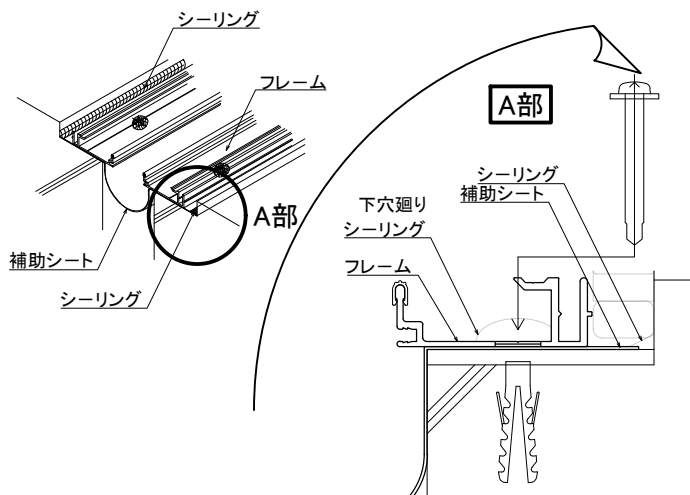
エレベーターホール・渡り廊下・競技場など、クリアランスが下の階に通じている場合

- ◆補助シートにプチルテープを貼り、フレームの下に敷きEXP. J. Cと躯体の取合いはシーリングを行なって下さい。(躯体との目地シーリングは別途工事)
- ◆補助シートはフレームから垂らし床下に樋受け(別途工事)を設置して、雨樋から水を排水する様にして下さい。

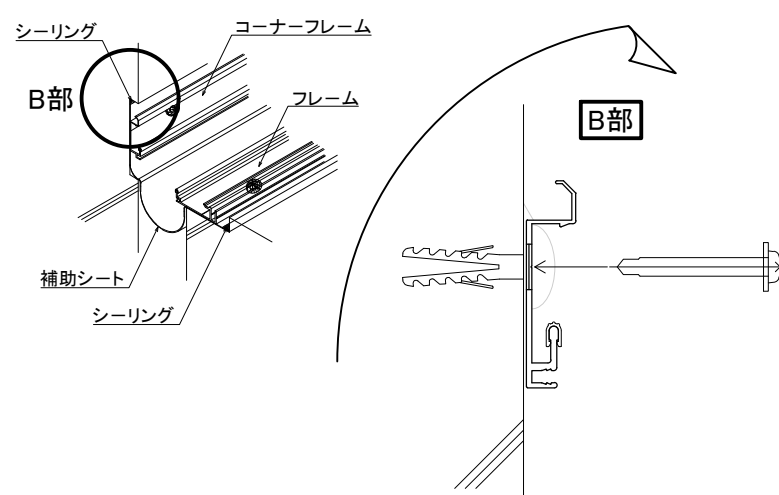


### 床(外部に使用の場合)

#### 床



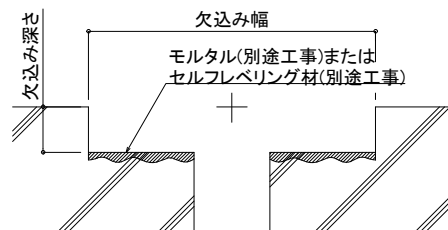
#### 床コーナー



## 【フレームのたわみ・ガタ付き対策】

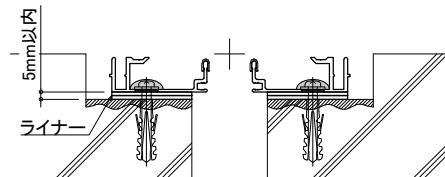
#### 床の不陸調整

- ◆躯体欠き込みの不陸がある場合、施工前にモルタル(別途工事)又はセメント系セルフレベルング材(別途工事)で平滑にして下さい。



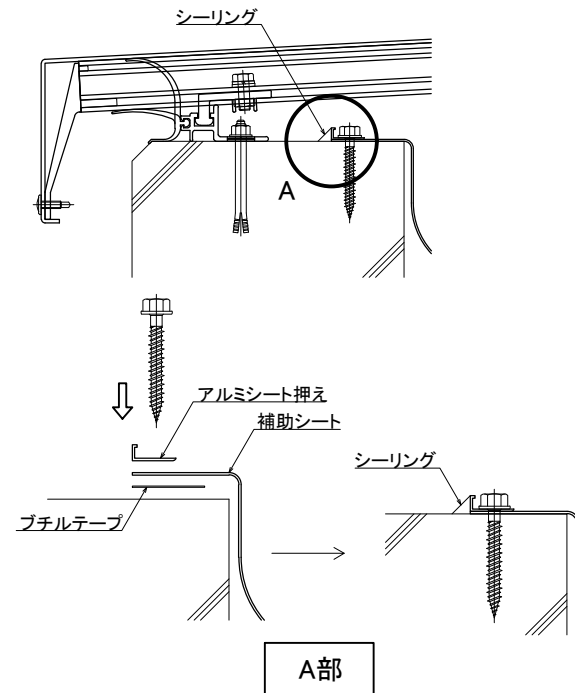
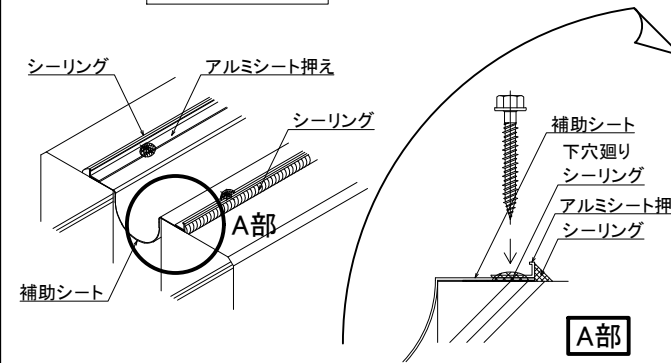
#### フレームのライナー調整について

- ◆躯体とフレームの高さ調整ライナー寸法は5mm以内して下さい。(ライナーは当社専用ライナーをご使用下さい。)
- ◆部分的に調整寸法が大きくなる場合、フレーム施工前に躯体との隙間にモルタル又は樹脂材を注入して、フレームの隙間を無くして下さい。

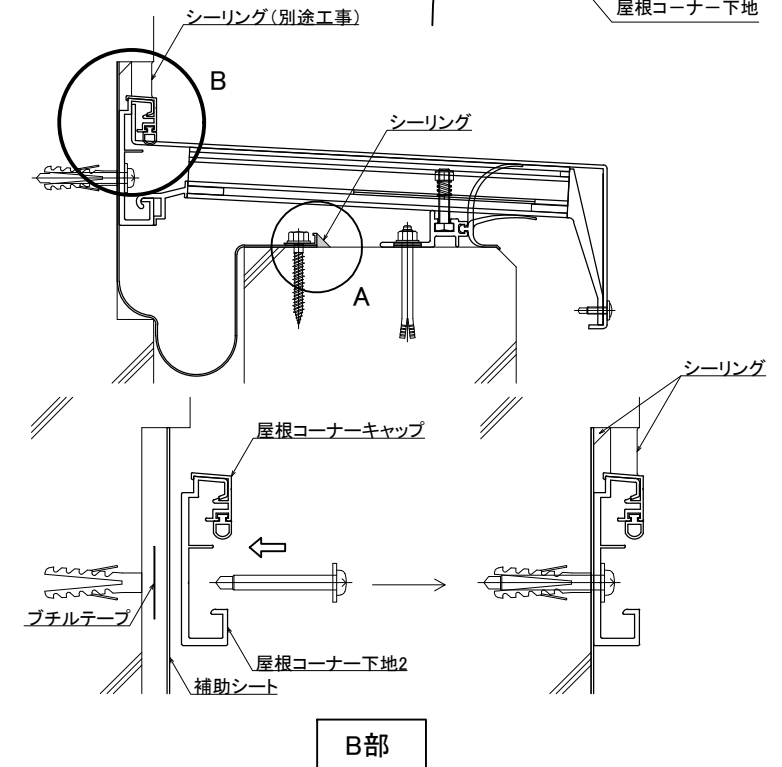
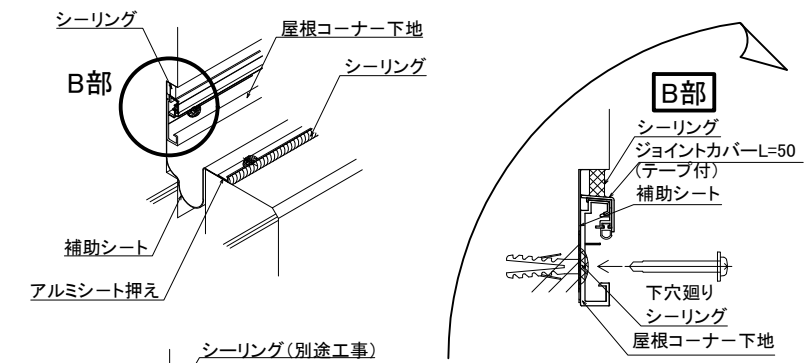


## 【雨水対策】

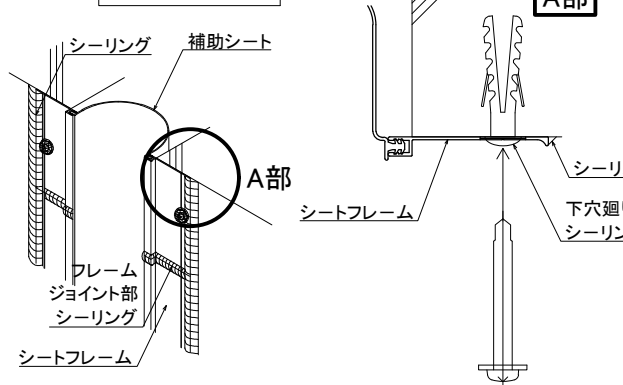
### 屋根一屋根



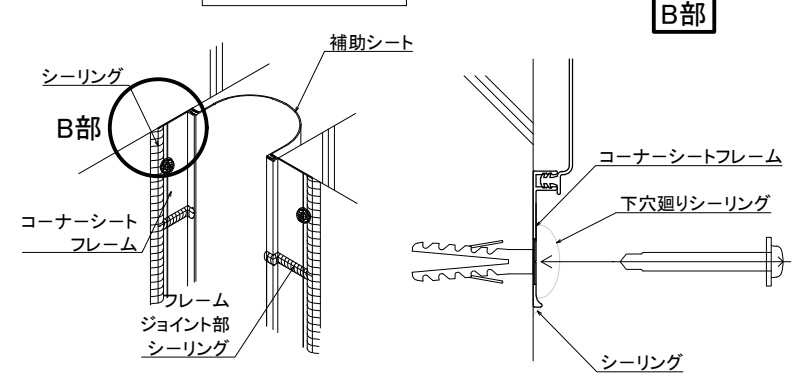
### 屋根コーナー



### 外壁一外壁



### 外壁コーナー



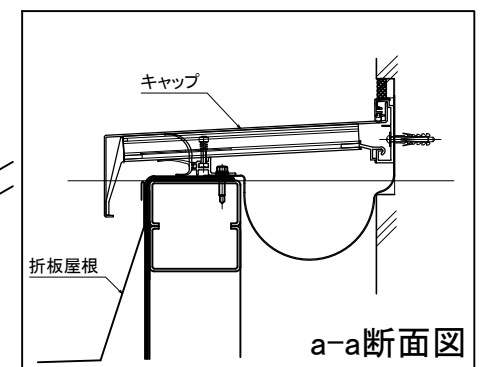
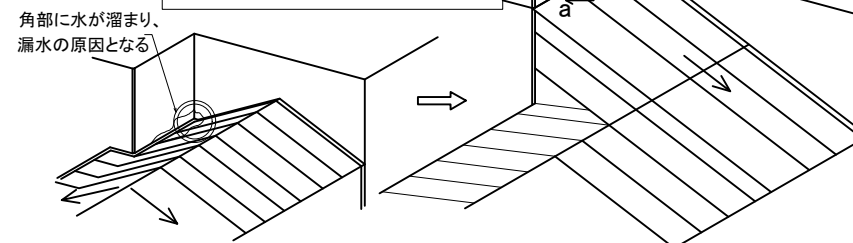
◆: 屋根勾配に沿ってEXP. J. Cを取り付ける場合の注意点

屋根勾配により、水が溜まる部分については漏水の原因となる恐れがあります。

#### 改善策

角部に水が溜まり、漏水の原因となる

躯体や屋根材を立ち上げ水溜りにならない様にしてください。



a-a断面図